



2026年3月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

2025年11月13日

東証スタンダード **5304**

SECカーボン株式会社

目次

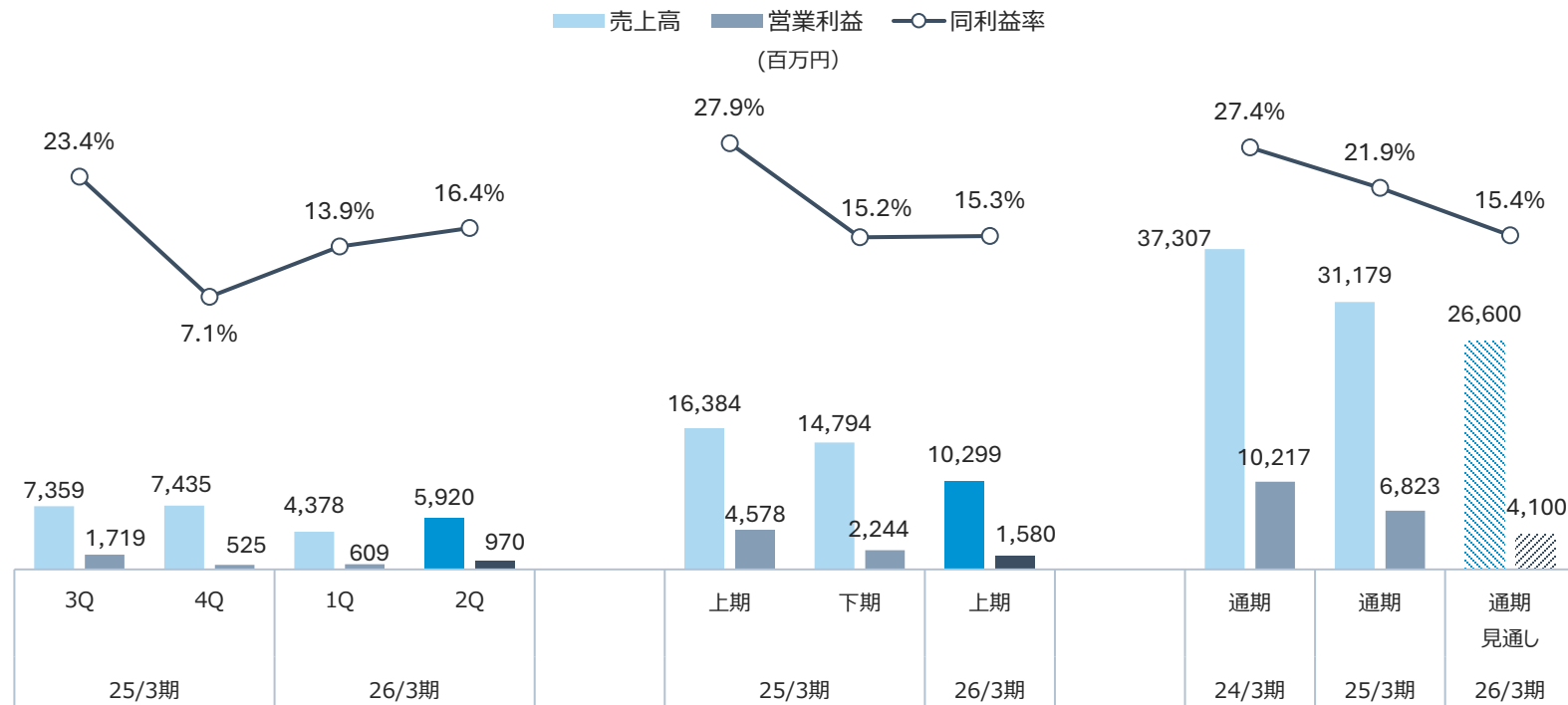
01. 2026/3期上期 決算概要	p.2
02. 2026/3期通期 決算見通し	p.10
03. トピックス	p.17
04. APPENDIX	p.20

2026/3期上期 決算概要

01.

エグゼクティブサマリー

- 26/3期2Qは1Q比増収増益。営業利益率は2四半期連続の改善となり、1Qを業績ボトムとするシナリオを裏付ける展開。
- 但し、半期で見ると、未だボトム圏に低迷。26/3期の通期見通しも、前期比減収減益想定。回復は27/3期以降を見込む



2Q決算概要

- 前年同期比（YoY）で61億円（37%）減収、30億円（66%）営業減益。円高影響に加え、主力のカソードブロックで在庫調整が重石に
- 前年下期比（HoH）でも減収減益。ただし、減益幅は7億円に縮小。上期が当面の業績ボトムとの見方に沿った結果
- 期初想定との比較では営業利益が超過達成。黒鉛電極や特殊炭素製品の売上未達はあるも、為替影響や製品構成改善が奏功

百万円	2025/3期		2026/3期上期				
	上期	下期	期初想定	実績	差異		
					対想定	YoY	HoH
売上高	16,384	14,794	11,100	10,299	▲800	▲6,085	▲4,495
アルミニウム製錬用カソードブロック	12,107	9,895	6,400	6,648	+248	▲5,458	▲3,246
人造黒鉛電極	2,104	2,420	2,600	2,017	▲582	▲87	▲402
特殊炭素製品	1,646	2,006	1,700	1,269	▲430	▲377	▲737
ファインパウダー/その他炭素製品	525	472	400	364	▲35	▲161	▲108
営業利益	4,578	2,244	1,000	1,580	+580	▲2,998	▲664
営業利益率	27.9%	15.2%	9.0%	15.3%	+6.3pp	▲12.6pp	+0.2pp
EBITDA*	5,201	2,925	1,700	2,187	+487	▲3,013	▲738
EBITDAマージン	31.7%	19.8%	15.3%	21.2%	+5.9pp	▲10.5pp	+1.4pp
経常利益	4,819	2,896	1,500	2,284	+784	▲2,534	▲612
親会社株主帰属当期純利益	3,561	2,188	1,000	1,634	+634	▲1,927	▲554
輸出比率	79.2%	73.8%	67.6%	70.4%	+2.8pp	▲8.8pp	▲3.4%
期中為替レート（円/USD）	153.14	152.31	140.00	146.05	+6.05	▲7.09	▲6.26

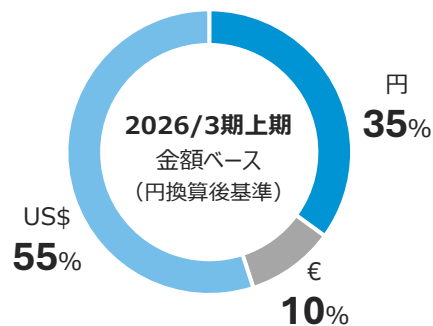
*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

四半期別業績推移

- 2Q発生ベースでは1Q比（QoQ）増収増益。在庫調整進展からカソードブロックが増収に転じ、利益面でも改善を牽引。1Qをボトムに回復
- ただし、前年同期比（YoY）ではまだ減収減益。主力のカソードブロック調整影響の完全払拭には至っていない状況

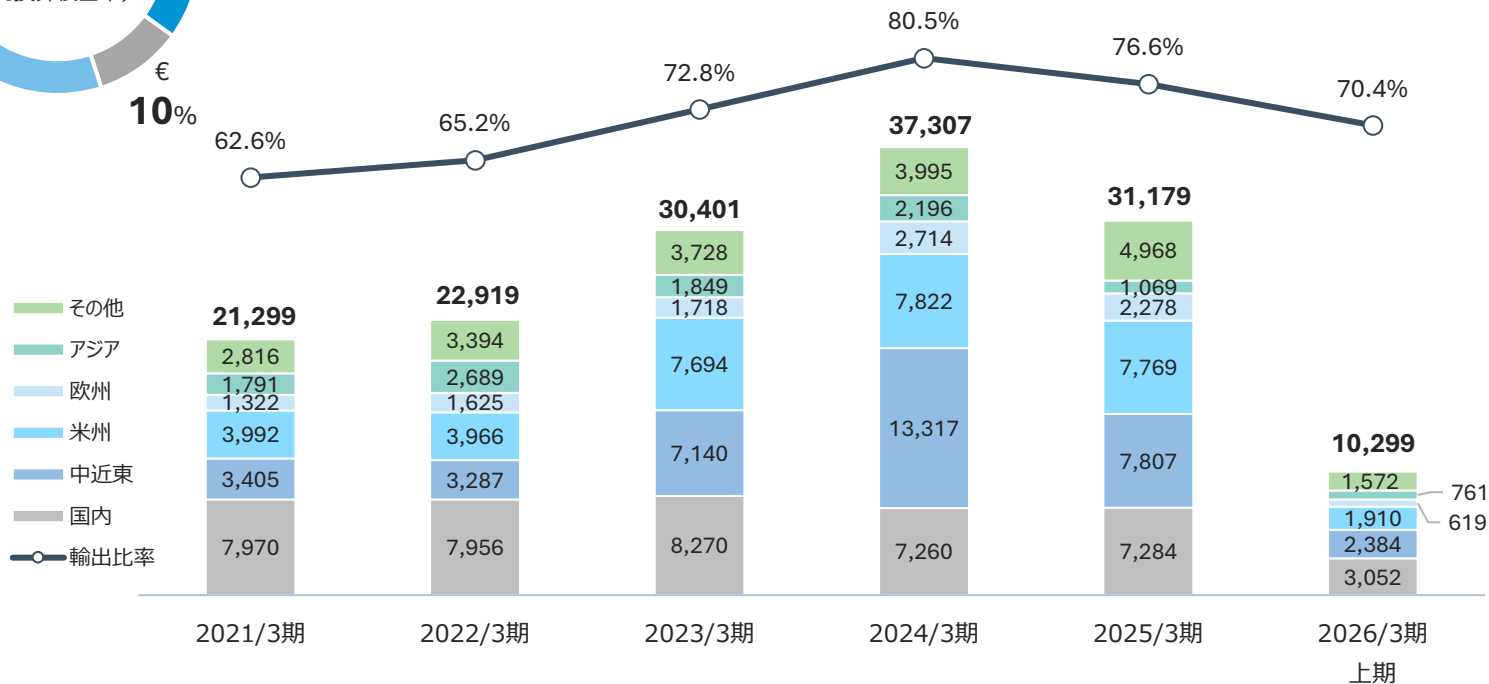
百万円	2025/3期				2026/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	QoQ		YoY 増減率
							増減額	増減率	
売上高	8,400	7,983	7,359	7,435	4,378	5,920	+1,541	+35.2%	▲25.9%
アルミニウム製錬用カソードブロック	6,273	5,833	5,306	4,588	2,485	4,162	+1,677	+67.5%	▲28.6%
人造黒鉛電極	1,016	1,087	931	1,488	1,010	1,006	▲4	▲0.4%	▲7.5%
特殊炭素製品	828	818	863	1,142	691	577	▲114	▲16.6%	▲29.5%
ファインパウダー/その他炭素製品	281	244	257	215	190	173	▲16	▲8.8%	▲28.8%
営業利益	2,377	2,201	1,719	525	609	970	+360	+59.2%	▲55.9%
営業利益率	28.3%	27.6%	23.4%	7.1%	13.9%	16.4%	+2.5pp	-	▲11.2pp
EBITDA	2,684	2,516	2,058	866	891	1,296	+405	+45.5%	▲48.5%
EBITDAマージン	32.0%	31.5%	28.0%	11.6%	20.4%	21.9%	+1.5pp	-	▲9.6pp
経常利益	3,125	1,693	2,472	424	948	1,335	+386	+40.8%	▲21.1%
親会社株主帰属当期純利益	2,276	1,285	1,712	475	672	961	+289	+43.0%	▲25.2%
輸出比率	80.4%	77.9%	76.0%	71.7%	61.0%	77.3%	+16.3pp	-	-
期中為替レート（円/USD）	156.32	149.83	152.94	151.65	144.07	147.23	+3.16	+2.2%	▲1.7%

地域別売上高

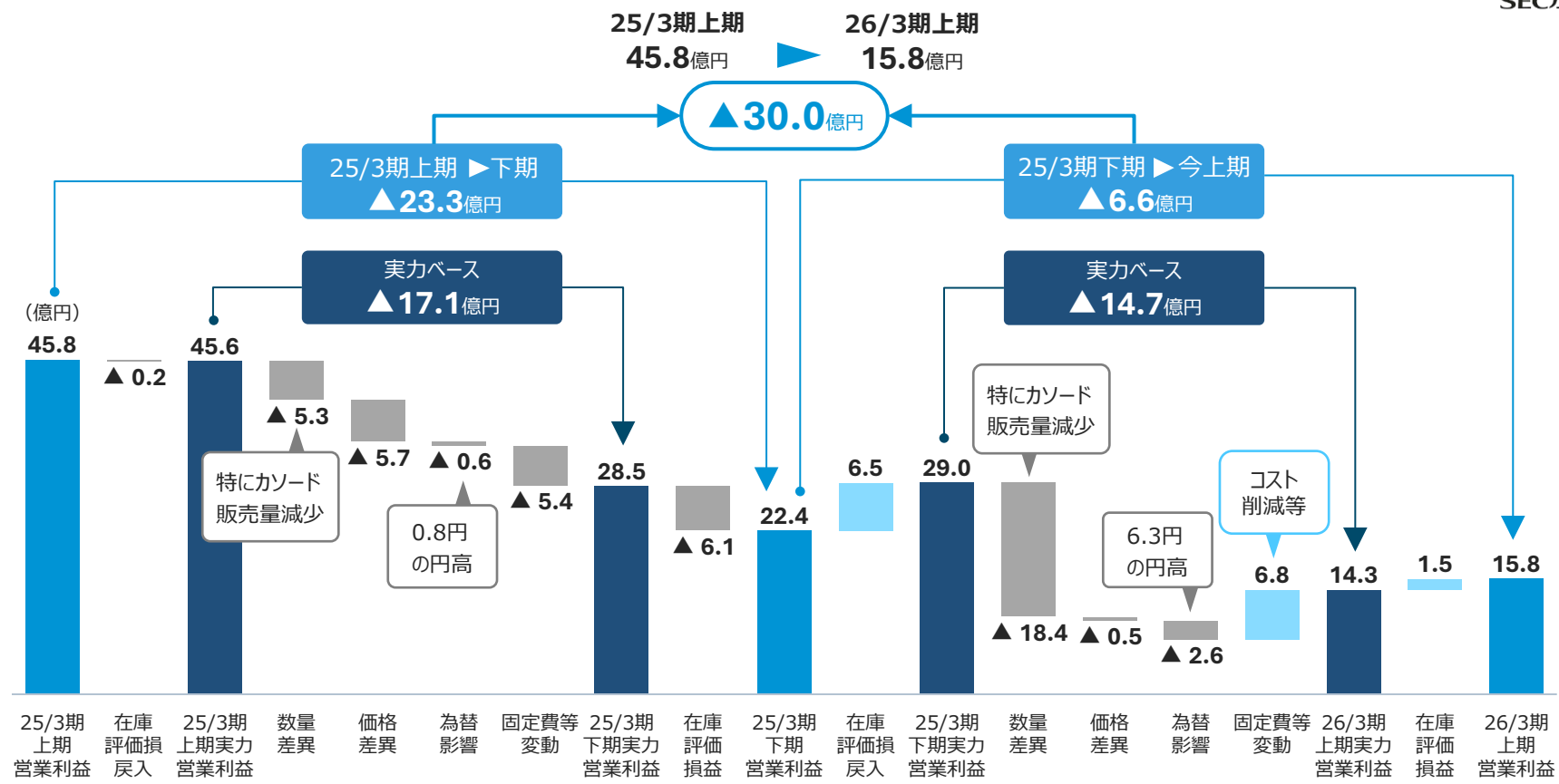


為替感応度* 営業利益：約1億円

*1円円安（対USD）時の増益



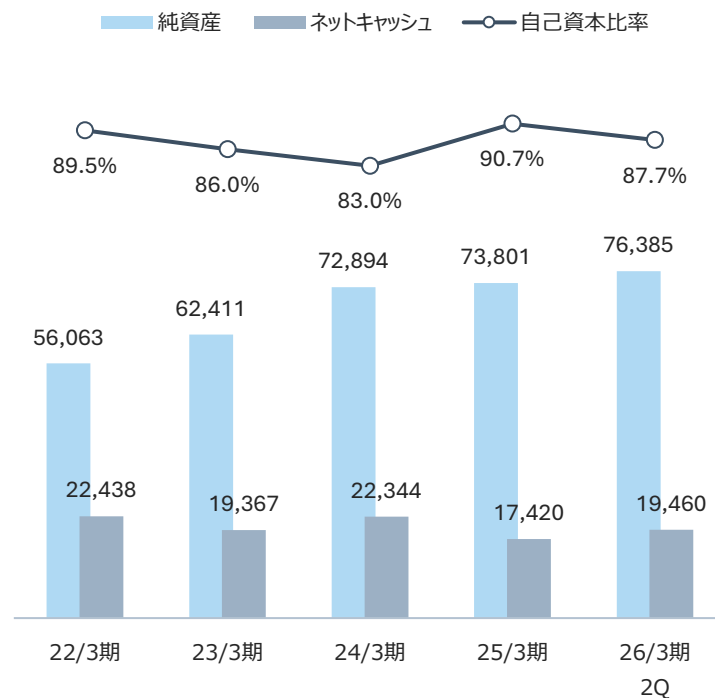
2026/3期上期 営業利益 増減要因分析



B/S状況

- 自己資本比率は90%弱。無借金経営でもあり、財務基盤は依然として超盤石。ただし、手元現預金が総資産の2割強を占める状況には改善の余地があるとも認識。研究開発や設備投資を拡大し、今後の成長投資に向けての先行投資拡充を急ぐ
- 総資産は前期末比で6.9%拡大。生産設備取得や投資有価証券勘定の拡大（持分法適用会社株式取得や時価上昇）などが寄与

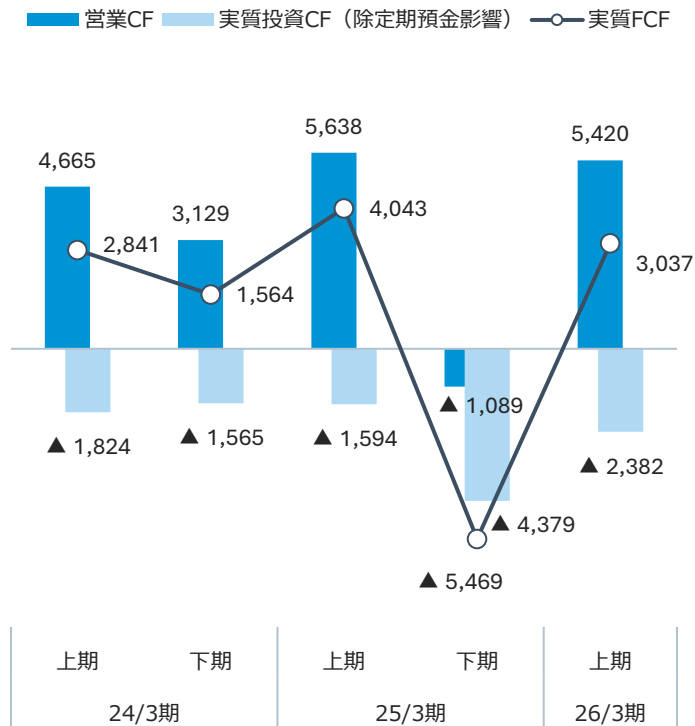
百万円	2025/3期		2026/3期	対期末 増減額
	上期末	通期末	上期	
流動資産	53,008	45,824	45,229	▲595
現預金	23,957	17,420	19,460	+2,040
受取手形/売掛金	8,261	9,266	6,459	▲2,807
棚卸資産	19,341	17,853	18,590	+736
固定資産	33,610	35,570	41,808	+6,238
有形固定資産	16,335	17,623	19,086	+1,463
投資有価証券	17,066	17,724	22,509	+4,784
総資産	86,619	81,395	87,038	+5,642
負債	14,356	7,593	10,652	+3,058
買掛金	2,648	1,586	1,881	+294
未払法人税等	1,559	370	644	+273
純資産	72,263	73,801	76,385	+2,584
利益剰余金	53,514	54,701	55,332	+631
負債・純資産合計	86,619	81,395	87,038	+5,642



- 定期預金の影響を除いた実質FCFは黒字を回復。ネットキャッシュはさらに拡大
- FCF黒字化の主因は売上債権の回収進展などによる営業CFの大幅改善。投資CFでも、日本電極株式などの投資有価証券取得による支払増があったものの、固定資産取得の支払ペースダウンが貢献

百万円	2025/3期		2026/3期	対前下期 増減額
	上期	下期	上期	
営業CF	5,638	▲ 1,089	5,420	+6,509
税前当期純利益	5,105	3,064	2,256	▲ 808
減価償却費	622	681	607	▲ 73
運転資本増減	3,065	▲ 579	2,365	+2,945
法人税支払	▲ 2,357	▲ 1,784	▲ 360	+1,424
投資CF	▲ 5,724	320	▲ 5,912	▲ 6,232
定期預金増減	▲ 4,130	4,700	▲ 3,530	▲ 8,230
実質投資CF*	▲ 1,594	▲ 4,379	▲ 2,382	+1,997
有形固定資産取得	▲ 1,938	▲ 4,611	▲ 324	+4,286
投資有価証券取得	▲ 24	▲ 15	▲ 1,942	▲ 1,927
実質FCF*	4,043	▲ 5,469	3,037	+8,506
財務CF	▲ 1,985	▲ 1,004	▲ 1,004	0
配当金支払	▲ 1,340	▲ 1,002	▲ 1,001	0
現金同等物期中増減	▲ 2,516	▲ 1,837	▲ 1,489	+347
実質現金同等物期中増減*	1,613	▲ 6,537	2,040	+8,577

* 定期預金の影響を除いたベース



2026/3期通期 決算見通し

02.

2026/3期 決算見直し修正(従来見直し比)

- 営業利益の下期見直しを従来想定より3.8億円減額修正。カソードブロックなどの販売数量前提引下げで4.1億円、管理費他で2.5億円、さらに評価損の増加2.7億円などが影響。為替前提の円安変更で4.8億円、その他0.7億円は増益要因となったものの、上記マイナス要因を吸収できず
- 通期営業利益は従来想定比2億円の増額修正。下期見直しは減額修正ながら、上期営業利益超過達成5.8億円で吸収と想定

百万円	上期実績	下期見直し			通期見直し		
		従来	修正	差異	従来	修正	差異
売上高	10,299	18,100	16,301	▲1,799	29,200	26,600	▲2,600
アルミニウム製錬用カソードブロック	6,648	12,700	10,952	▲1,748	19,100	17,600	▲1,500
人造黒鉛電極	2,017	2,900	2,783	▲117	5,500	4,800	▲700
特殊炭素製品	1,269	2,000	2,231	+231	3,700	3,500	▲200
ファインパウダー/その他炭素製品	364	500	336	▲164	900	700	▲200
営業利益	1,580	2,900	2,520	▲380	3,900	4,100	+200
営業利益率	15.3%	16.0%	15.5%	▲0.5pp	13.4%	15.4%	+2.0pp
EBITDA	2,187	4,140	3,853	▲287	5,840	6,040	+200
EBITDAマージン	21.2%	22.9%	23.6%	+0.7pp	20.0%	22.7%	+2.7pp
経常利益	2,284	3,500	3,016	▲484	5,000	5,300	+300
親会社株主帰属当期純利益	1,634	2,300	1,966	▲334	3,300	3,600	+300
輸出比率	70.4%	78.2%	74.5%	▲3.7pp	74.1%	72.9%	▲1.2pp
期中為替レート (円/USD)	146.05	140.00	145.00	+5.00	140.00	145.40	+5.40

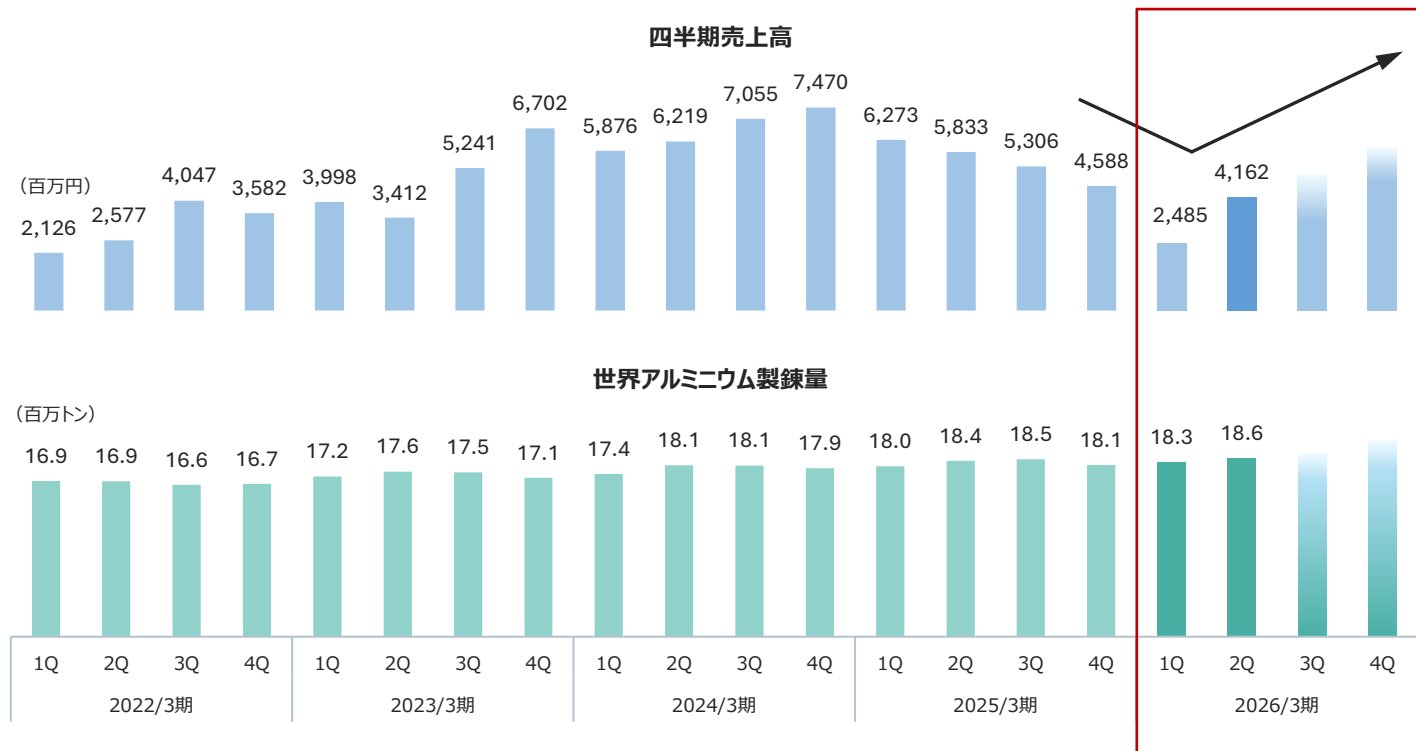
2026/3期 決算見通し（上下期比較、前期比較）

- 前期比較では145.40円/USDを前提に、通期業績は15%減収、40%営業減益を想定
- 下期のみでは、上期比で+9億円（+59%）の営業増益を見込む。売上も上期比+60億円（+58%）の大幅増収を予想。カソードブロックの在庫調整進捗から業績は改善進む見通し。なお、増収幅に対して増益幅が限定的となるのは、償却増や円高前提による採算低下が主因

百万円	2025/3期			2026/3期				
	上期	下期	通期	上期	下期見通し	上/下差異	通期見通し	対前期比
売上高	16,384	14,794	31,179	10,299	16,301	+6,002	26,600	▲14.7%
アルミニウム製錬用カソードブロック	12,107	9,895	22,002	6,648	10,952	+4,304	17,600	▲20.0%
人造黒鉛電極	2,104	2,420	4,524	2,017	2,783	+766	4,800	+6.1%
特殊炭素製品	1,646	2,006	3,653	1,269	2,231	+962	3,500	▲4.2%
ファインパウダー/その他炭素製品	525	472	998	364	336	▲28	700	▲29.9%
営業利益	4,578	2,244	6,823	1,580	2,520	+940	4,100	▲39.9%
営業利益率	27.9%	15.2%	21.9%	15.3%	15.5%	+0.2pp	15.4%	-
EBITDA	5,201	2,925	8,127	2,187	3,853	+1,666	6,040	▲25.7%
EBITDAマージン	31.7%	19.8%	26.1%	21.2%	23.6%	+2.4pp	22.7%	-
経常利益	4,819	2,896	7,716	2,284	3,016	+732	5,300	▲31.3%
親会社株主帰属当期純利益	3,561	2,188	5,750	1,634	1,966	+332	3,600	▲37.4%
輸出比率	79.2%	73.8%	76.6%	70.4%	74.5%	+4.1pp	72.9%	▲3.7pp
期中為替レート（円/USD）	153.14	152.31	152.76	146.05	145.00	▲1.05pp	145.40	▲4.8%

アルミニウム製錬用カソードブロック売上見通し

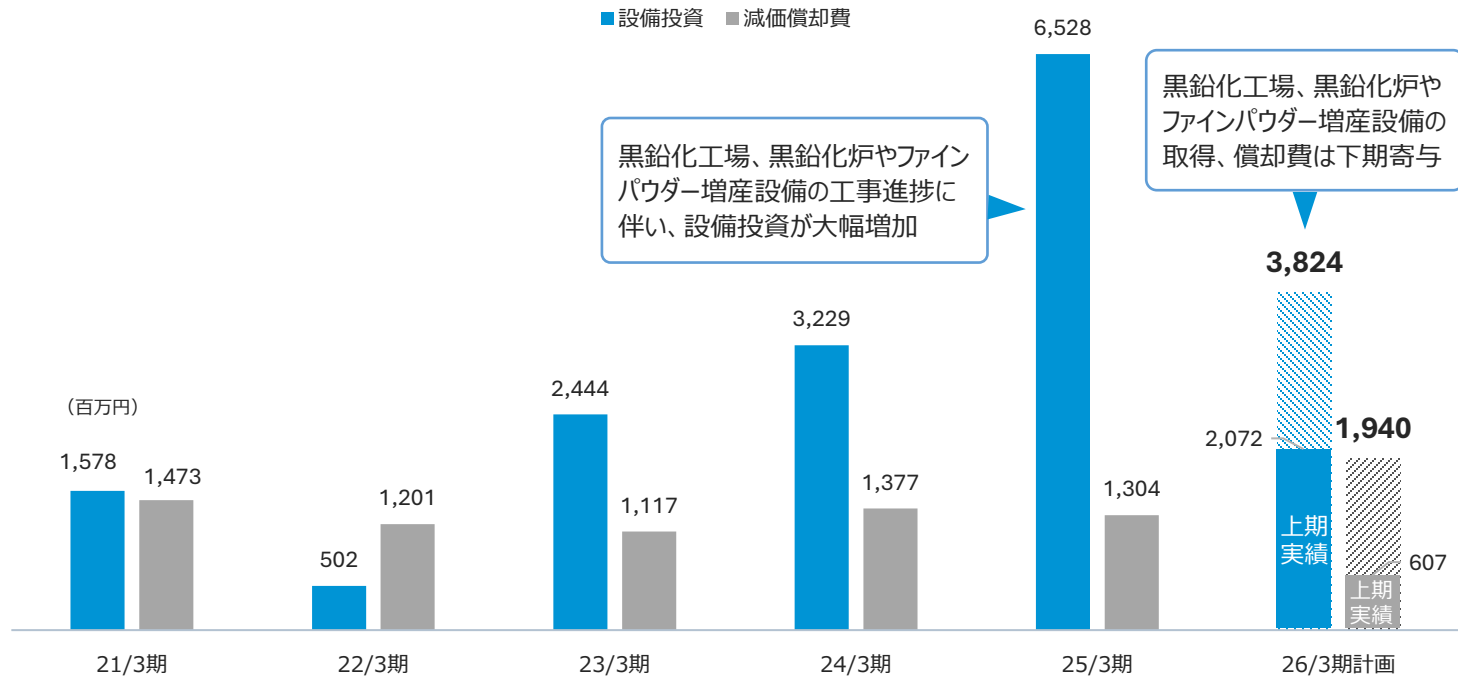
- 世界アルミニウム製錬量は2四半期連続で増加。直近ピークの18.5百万トン（25/3期3Q）を上回り、過去最高水準を更新
- 当社のカソードブロック売上高も、26/3期1Qをボトムに拡大に転換。今後は順調な回復を想定



(出典) International Aluminium Institute <https://international-aluminium.org/> より抜粋し、当社作成

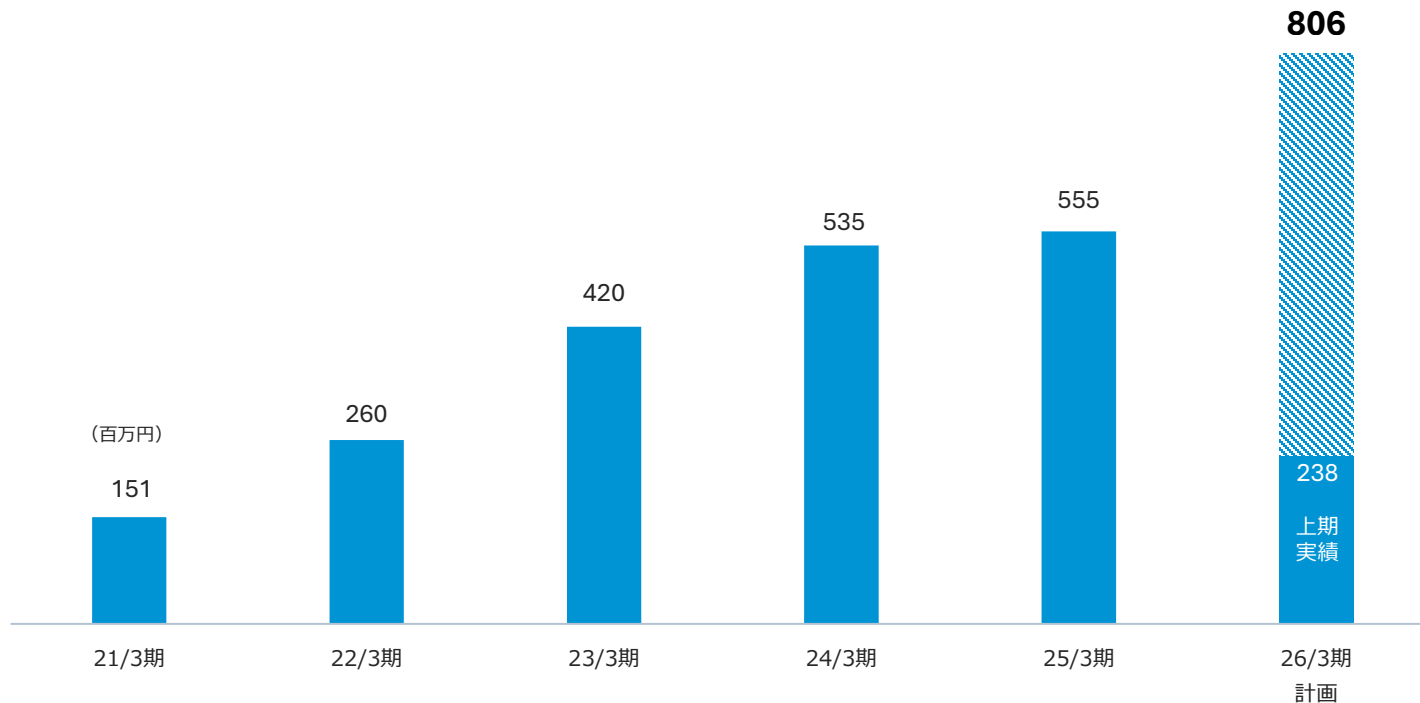
設備投資

- 26/3期は、下期より黒鉛化工場、黒鉛化炉やファインパウダー増産設備の本稼働が開始される予定であり、減価償却負担増加見込み



研究開発

- 新世代製品やCO2資源化等において産官学の共同研究に取り組んでおり、研究開発費は増加傾向
- 26/3期上期は2.4億円を計上。来期に持ち越し案件もあり、当初想定には達していないものの研究開発計画自体に変更はなし



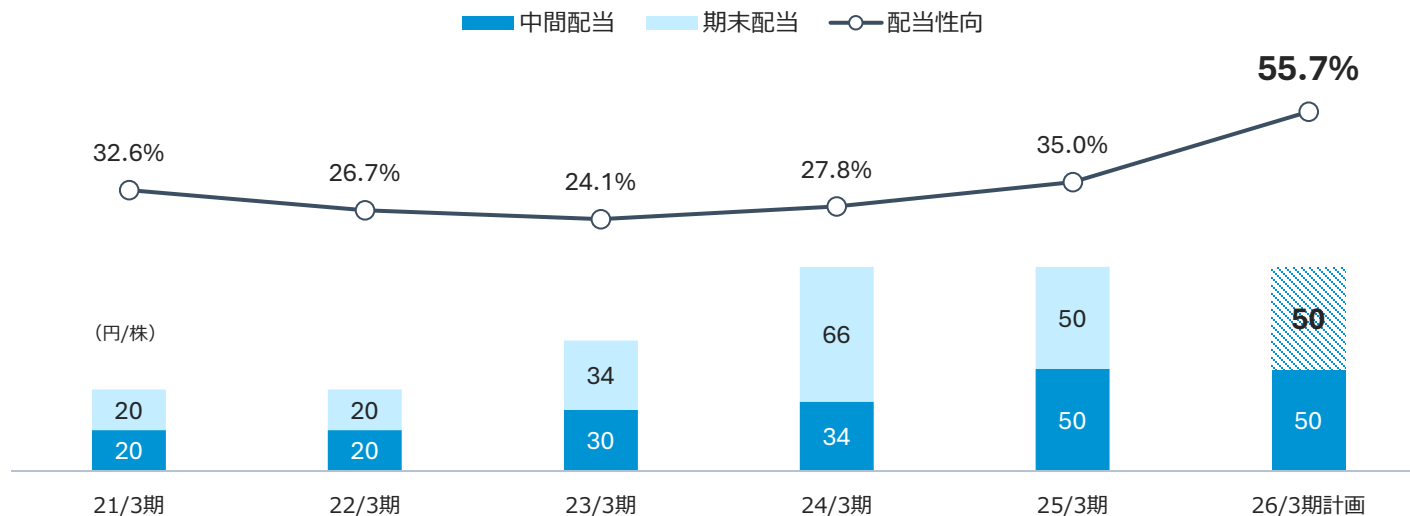
- 26/3期中間配当は1株当たり50円。通期では配当方針に則り、25/3期と同額の年間100円配当を計画

配当方針

収益性の向上と財務の健全性を図りつつ、連結配当性向30%を目安に永続的かつ安定的に実施

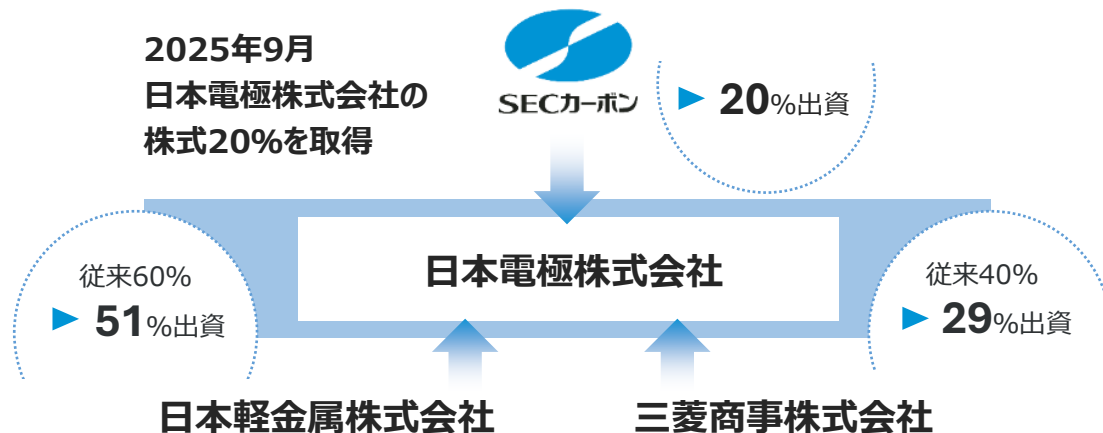
自己株式取得方針

業績の動向、資本の状況、市場環境等を考慮の上、機動的に実施



トピックス

03.



- 狙い
- ・ カソードブロック、特殊炭素製品分野での協業による**品揃え強化**
 - ・ 同社設備活用を通じ、**成長投資のオプション**の一つを確保

- 影響
- ・ 2026/3期下期より持分法適用
 - ・ ただし、**今期への業績影響は限定的**

- スキーム
- ・ 既存株主である**日本軽金属、三菱商事より株式取得**

日本電極株式会社

- 設立： 1945年5月1日（当社と日本軽金属で共同設立）
- 所在地： 静岡県静岡市清水区蒲原5600
- 代表者： 代表取締役社長 杉中秀彰
- 事業内容： 炭素製品の製造および販売
- 資本金： 12億円 （2025年3月期）
- 売上高： 64億円 （2025年3月期）
- 当期純利益： ▲0.38億円

2026/3期通期決算発表までに、第9次中期経営計画を見直し

計画策定後の事業環境変化を織り込み、
より戦略的なアプローチを導入の予定



以下を基本骨子とする施策の導入を検討中

①



営業力の強化

②



製品ラインナップの拡充

③

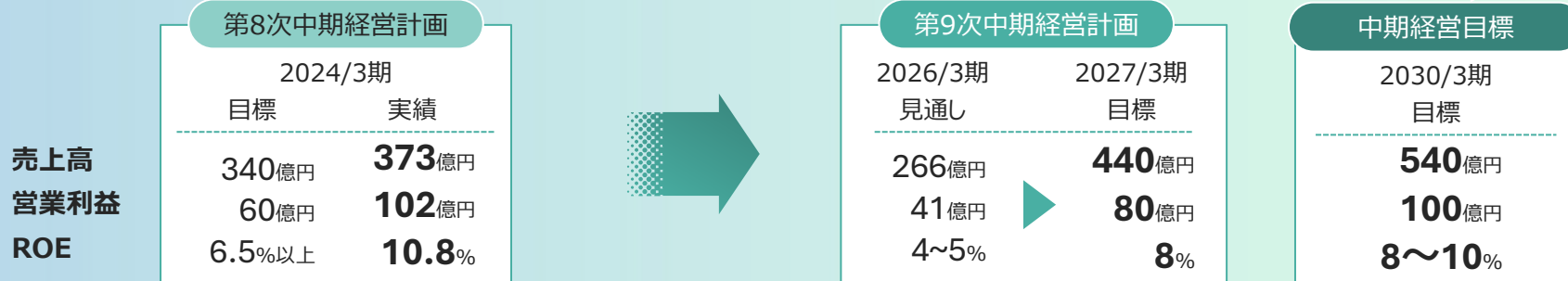


M & Aを含めた戦略投資による
次世代ビジネスの開拓

APPENDIX

04.

サステナブル2026持続的成長へ



計画策定後の事業環境変化

アルミニウム製錬用 カソードブロック	▶ 新規製錬所の建設プロジェクトの延期 ▶ アメリカ関税政策の直接影響ないが、間接影響不透明
人造黒鉛電極	▶ 粗鋼生産量低水準 ▶ 中印メーカーの安価電極流入による市況悪化 ▶ アンチダンピング措置発動による中国品輸入抑制は好材料
特殊炭素製品	▶ 非鉄金属向けの回復鈍い
ファインパウダー	▶ 自動車、家電向けの回復鈍い
為替（円/USD）	▶ 足下は150円/USD水準だが、将来の不透明さ残る

経営課題

- 販売量減少に伴う固定費負担の軽減
- 現行製品以外の新製品の開発
- 厳しい環境下でも選ばれる高品質製品の提供
- M&Aを含めた戦略投資の実現

- アルミ製錬用カソードブロックは、定常的な更新需要に加え、2030/3期にかけて新規アルミ製錬所のプロジェクト需要発生を見込む。これにより、総需要は増加を予想

- また、従来の非黒鉛化品からランニングコストやカーボンニュートラルへのメリットが大きい黒鉛化品へのシフトが進展する見通し。黒鉛化品を主力とする当社の売上高は拡大を予想

プラス材料

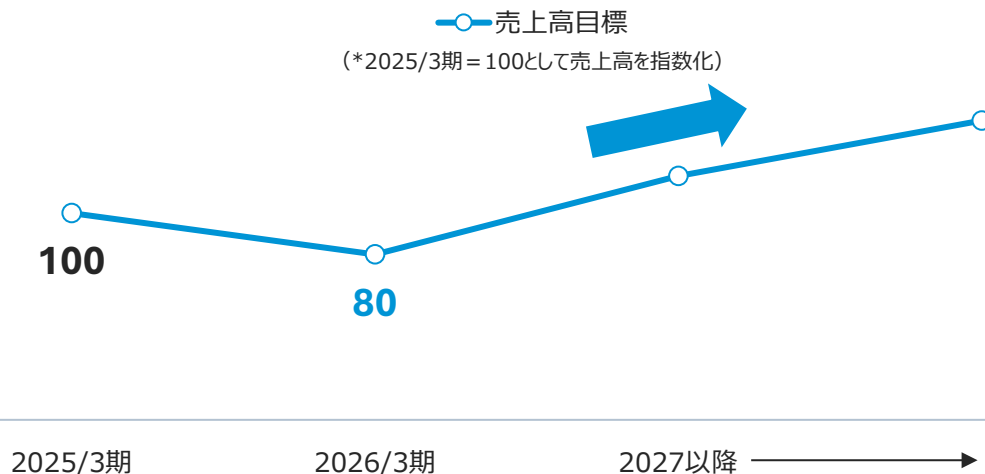
マイナス材料

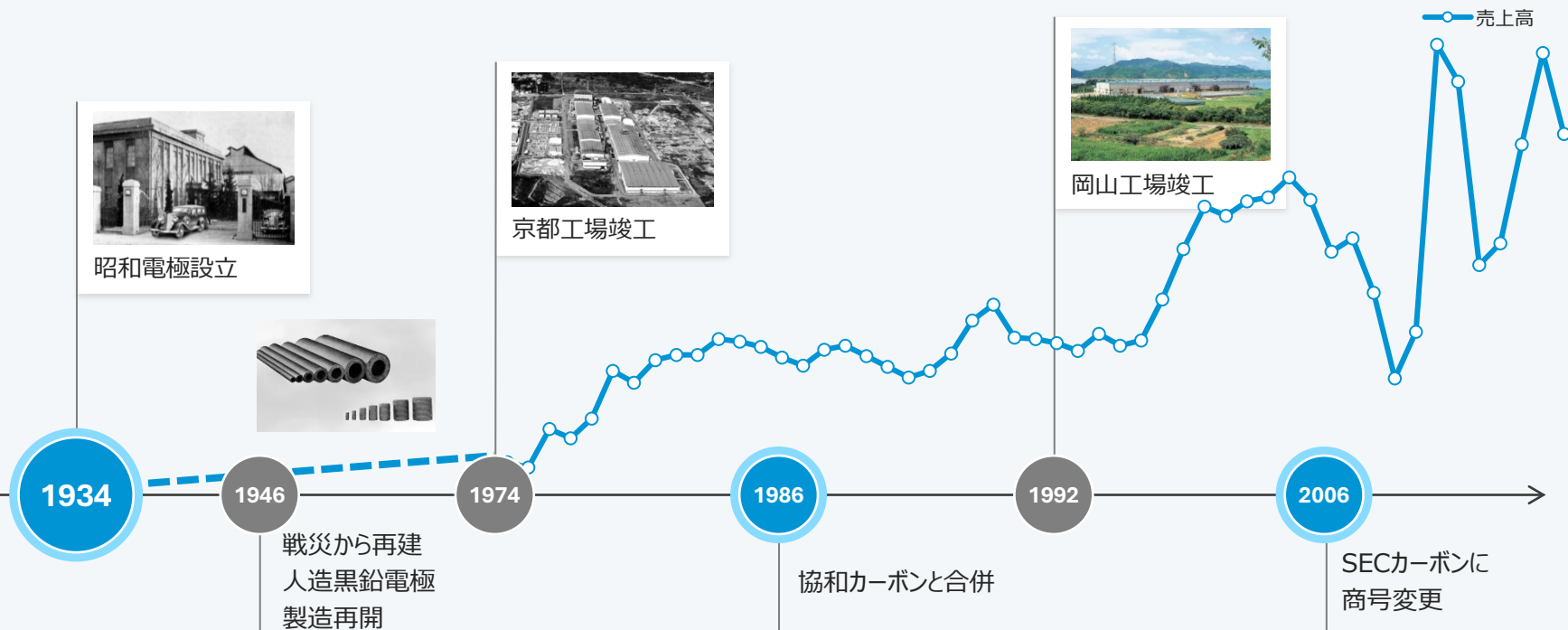
コスト面等からの非黒鉛から黒鉛への世界的な動き

中国企業の参入による製品のコモディティ化
円高による競争力の低下懸念

黒鉛化カソードブロックへの転換
で**3.4%**の電力使用量削減

アルミ製錬用カソードブロックの売上高目標





項目	単位	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期上期
設備投資	百万円	1,578	502	2,444	3,229	6,528	2,072
減価償却費	百万円	1,473	1,201	1,117	1,377	1,304	607
研究開発費	百万円	151	260	420	535	555	238
金融収支	百万円	225	262	526	725	960	494
売上高	百万円	21,299	22,919	30,401	37,307	31,179	10,299
海外売上比率	%	62.6	65.2	72.8	80.5	76.6	70.4%
期中為替レート	円/USD	106.25	112.89	134.84	145.34	152.76	146.05
営業利益	百万円	3,081	3,222	6,490	10,217	6,823	1,580
EBITDA	百万円	4,554	4,423	7,607	11,595	8,127	2,187
親会社株主帰属当期純利益	百万円	2,496	3,039	5,402	7,299	5,750	1,634
ROE	%	4.8	5.6	9.1	10.8	7.8	—
営業CF	百万円	3,367	7,615	2,337	7,794	4,548	5,420
実質投資CF	百万円	▲ 1,993	▲ 944	▲ 4,319	▲ 3,389	▲ 5,974	▲ 2,382
実質FCF	百万円	1,373	6,671	▲ 1,981	4,404	▲ 1,426	3,037
財務CF	百万円	▲ 1,032	▲ 826	▲ 1,027	▲ 1,393	▲ 2,989	▲ 1,004
現金及び現金同等物残高	百万円	16,385	22,188	19,087	9,424	5,070	3,580
1株当たり年間配当金	円/株	40	40	64	100	100	50
配当性向	%	32.6	26.7	24.1	27.8	35.0	—

(注) 1株当たり配当金：2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。比較のために、2021/3期期首に株式分割を行ったと仮定して記載

ご留意点

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

SECカーボン株式会社 総務広報部

06-6491-8600（代表）

<https://sec-carbon.com/contact/>